

## 令和4年3月卒業 卒業生の声



高田 奏音 帝京平成大学

私は陸上部に所属していて、練習中に足を痛めてしまいました。その時に鍼灸師である叔父に鍼治療をしてもらい、良くなったことをきっかけに疾患で悩まされている人を支えたいと思い、帝京平成大学鍼灸学科を志望しました。高校1年生の時から大学受験を意識した生活を過ごすことを心掛けました。具体的には学校のテストでは全教科80点以上を目指し、1日1時間でも自主勉強をするなど勉強する習慣をつけました。それだけでなく、様々な資格に挑戦することにも力を入れました。勉強をする上で結果が出ず、悔しい思いをする日や泣きたくなる日もありましたが、あきらめずに努力をした結果、合格を勝ち取れました。この3年間で学んだことはどんな状況下でも努力をする大切さです。高校3年間では進路活動だけでなくつらいこともあると思います。しかし、努力をして得られるものは大きいので、自分の中で後悔のないように何事も全力で頑張ってください。この学校に入って良かったです。



高柳 陽 影栄保育福祉専門学校

私は小さな子供と触れ合うことが好きで、子供たちとたくさんのかかわりを学んでいきたい、そんな思いで保育士を目指そうと思いました。高校では遅刻・欠席をなるべくしないようにし、評定平均4.0以上の成績優秀者を目指すように頑張りました。高校3年生になると進路活動が本格的になり、面接練習や学校見学もたくさんしなければいけません。進路が同じ友達と相談して見学に行ったり各専門学校のパンフレットを見て家族と相談をたくさんしました。面接練習をした時も、先生方は生徒ひとり一人の特徴を生かしてアドバイスをくださるので、とても気が楽でしたし、安心感がありました。おかげさまで無事合格することができました。高校3年間はあっという間に過ぎていってしまいます。自分のやりたいことがもうすでにあるならそれを生かして行ってほしいと思います。また、まだ進路を決めていない人も、少しのきっかけで興味があるものを見つけられるとめざす進路につながると思います。頑張ってください。



松野 優希 東京ガスライフバル E-Do 株式会社

私は高校2年生の頃から進路のことを考えるようになりました。本当はやりたいことがあったのですが、私の希望の進路がなく、どこにするか進路の先生や親と相談し東京ガスに決断しました。私は人々を支える仕事がしたいと思っていましたので自分にふさわしいと思いました。進路活動では本格的に面接練習をたくさんしました。私は人前で話すことが苦手なのでたくさんの先生方に面接指導をしていただき、とても助かりました。そして無事に内定をいただくことができました。高校生活を1日1日大事にすごし、まだ夢かやりたいことがない人でもあきらめず頑張ってください。高校は3年間あります。じっくりやりたいことを探してみてください。



佐藤 麻衣 株式会社 ヨーク

私は高校1年生の夏に友達に誘われてお祭りの手伝いをした時に楽しいと思い、販売職に就きたいと思うようになりました。高校では遅刻・欠席をしないように早めに行動をし、良い成績をとれるようにテストや提出物を毎回頑張りました。2年の後半から面接練習を始めました。学年や担任の先生、進路の先生などに面接指導をお願いし、面接内容や受け答え、身だしなみをたくさん教えていただきました。話がつまっても落ち着いてやれば大丈夫だよという進路の先生からのアドバイスが一番心に残りました。その結果、本番の試験ではあまり緊張せず楽しく面接官の方と話すことができました。そして無事内定をいただき、とてもうれしかったです。高校3年間はあっという間に流れていきます。その中でたくさん楽しみ、色々なことに挑戦して興味のあることを探してみてください。応援しています。